



Columbus Report

県政と皆様を結ぶ情報誌

神谷まさひろ 活動報告!

コロンブスレポート

Vol.70

2022.8

県政報告版

県政と皆様を結ぶ情報誌『コロンブスレポート Vol.70 県政報告版』をお届けします。現在私は2種類のレポートを発行しています。愛知県議会の定例会の内容を中心に掲載して、新聞折込などで皆様の元にお届けしている『日記で綴る県政報告』と、「等身大の神谷まさひろ」を知ってもらいたいという思いから、定例会以外の各種会議やイベント、時にはプライベートでの

活動なども掲載して郵送でお届けしているこのコロンブスレポートです。

今回のコロンブスレポートでは、盆踊りや夏祭りなど夏に因んだ内容も掲載しています。ぜひ一読頂き、県政をそして県議会議員を少しでも身近に感じて頂けたら幸いです。

7.6 水

東郷町長との面談 熱い思いを感じます

東

郷町役場を訪問して井俣町長と面談をする機会を得ました。給食のオーガニック化を推進しておられる町長さんです。給食のオーガニック化は目的ではなく、東郷町をどのような町にしたいのか、その構想における一つの手段でありプロセスに過ぎないという話や、地元の農業をどのように振興させるかという視点が初めにあって、その副産物として食の安全があるといった主旨のお話しをして頂きました。

「風吹いて桶屋が儲かる」行政は桶屋から桶を買ってあげるのではなく、風を吹かせてあげることが大切なのだ・・・町長が何度も口にした言葉です。確かに、行政にとっては投資した財源でどれだけの相乗効果を生み出せるかが重要なのですから、直接的な投資をするのではなく、風を吹かせるような投資をすることでその投資の何倍ものサービスや成果を生み出すことが大切なのだと思います。

約1時間、ほとんど町長さんが話をされました。まちに対する熱い思いを感じさせる内容でした。単に「給食のオーガニック化」といったテーマだけではなく、トップの熱

い思いの大切さを感じるとても学びの多い面談となりました。そしてこの町長さんのお話しを多くの皆さんに聞いて貰いたいという気持ちになりました。

そこで、別紙チラシの通り、オーガニック給食をテーマにした映画『いただきます2 オーガニック給食編』の自主上映会と井俣町長さんとの対談会を企画致しました。ぜひ多くの皆様にご参加頂きますようお願い申し上げます。



7.7 木

衣浦港における脱炭素化の取り組みが進んでいます

愛

知県に対する『衣浦港整備促進期成同盟会・衣浦港振興会合同の要望会』に出席しました。関係する5市3町の首長と顧問の立場で県議会議員が出席して、金田都市・交通局長を始め県の担当者に要望をする場です。要望項目としては…

◎競争力強化のための港湾整備の推進

◎計画的な防災・減災対策、維持管理の推進

◎賑わいあるみなとづくりの推進



この大きな3項目に対して具体的な13の事項が示され、それぞれの首長さんによって説明がされました。私が注目したのは「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略を見据えたエネルギーの脱炭素化の取り組み」です。

現在愛知県の約5割の電力を賄っている碧南火力発電所では、昨年から世界初となる大型商用石炭火力発電機アンモニア混焼実証実験を開始しました。23年度末には20%の混焼を目指し、更には高混焼バーナを開発して、50%以上の混焼に向けて挑戦するとのことです。

そしてそのための燃料アンモニアの輸入・貯蔵を可能とする受入環境の整備などが港湾には求められているのです。

7.8 金

6月定例会「教員の多忙化解消に向けた取組について」

今

日、6月定例会の内容を中心に掲載した『日記で綴る県政報告Vol. 14』が新聞折込やポスティングされました。今回の「県政報告Vol. 14」では補正予算関係以外に「特別支援学校」「中高一貫



校」「スクールカウンセラー」「日本語教室」といった教育関係にスポットを当てて紹介していますが、紙面の関係でどうしても掲載できなかった教育関係の項目がもう1つあります。それは「教員の多忙化解消に向けた取組について」です。

そこで、このコロンブスレポートにおいて、6月定例会代表質問における教育長の答弁からポイントを紹介します…

■教員の勤務実態の把握⇒県立学校では出退勤時に必ず各教員がタブレット端末の電源をオン・オフすることにより在校等時間を客観的に把握するとともに、教員が自ら時間外勤務の従事内容を入力することにしてい



る。市町村立学校においては、サービスを監督する各市町村教育委員会が、ICカード等により、教員の勤務実態を把握している。

- こうした勤務実態の把握により、各学校において業務の分担の見直しや適正化を進め、子供たちの心身の成長のために、教員が一人一人としっかり向き合うことのできる時間の確保を進めている。

- 学校の働き方改革を踏まえた部活動の地域移行⇒ス

ポーツ庁の運動部活動の地域移行に関する検討会議が取りまとめた提言では、単に休日の部活動を学校から切り離すということではなく、子供たちの望ましい成長を保障するため、地域において持続可能で多様なスポーツ環境を整備する必要があるとされている。

- 県教育委員会では、昨年度からスポーツ庁の「地域運動部活動推進事業」による実践研究を受託していて、春日井市と大口町を研究拠点として、地域における指導者や活動場所の確保など、休日の部活動を地域移行する際の課題について検証を行い、さまざまなパターンを想定したモデルの構築に取り組んでいる。
- 今後は、こうした実践研究の成果を踏まえ、教員のワークライフバランスと部活動への熱意にも十分配慮しながら、運動部・文化部を問わず、子供たちが引き続き部活動を通して成長していけるよう、段階的な地域移行を進めて行く。

7.12の

刈谷市から愛知県に対して「社会資本整備に関する要望」

7

月7日の日記でも書いたように様々な「〇〇整備促進期成同盟会」では、その会の要望を愛知県などに対して行う「要望会」を実施していま

す。そして、同じように市町村も県に対する「要望会」を行っていて、今日は刈谷市が愛知県に対して「社会資本整備に関する要望会」を実施しました。

要望事項としては・・・

(1)「モノづくり」を支え、国際競争力を強化する新たな広域道路ネットワークの整備と既存ストックを有効活用した道路機能強化

- ①高規格道路名古屋三河道路の早期実現 ※
- ②小垣江安城線の整備促進
- ③名古屋碧南線の橋梁架け替え事業
- ④名古屋岡崎線の整備促進 ※

(2)市民の生活と地域産業を支える河川整備

- ①二級河川逢妻川改修事業 ※
- ②二級河川前川水系の治水安全度の向上
- ③二級河川の適切な維持管理の実施(浚渫・樹木伐採)

※→重点事業です



(3) 誰もが安全で利用しやすい駅改良整備

① JR刈谷駅総合改善事業への支援 ※

尚、この中の道路整備計画について、「名称だけでは、どの道路のことかよく判らない」とのご意見をよく頂きますので、少し詳しく説明します。



① 高規格道路名古屋三河道路

新東名の岡崎から→安城→刈谷→境川を渡り→東浦町→知多市→名古屋港を結ぶ高架の道路です。今年4月に重要物流道路に指定され、優先整備区間としては「西知多道路～名豊道路(国道23号)」です。

(緒川橋・境川橋・逢妻橋・市原橋)の架け替えと、連続した歩道を設置する整備です。

② 小垣江安城線

小垣江のカーマの信号から東に向かうと国道419号で突き当たりになってしまいますが、これを更に国道23号の高棚北ICまで伸ばす計画です。

④ 名古屋岡崎線

名古屋市緑区の国道302号から豊明市・刈谷市・豊田市・安城市を経て岡崎市の国道1号に至る延長26.3 Kmの主要幹線道路です。刈谷市ではハイウェイオアシスの北側を通っており、[豊明刈谷工区]1.2Kmでのバイパス整備と[オアシス橋工区]においては、暫定2車線区間の4車線化整備を進めています。

③ 名古屋碧南線

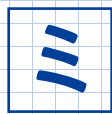
司町の交差点から東浦方面に向かう際に通る4つの橋

私もこれらの事業の推進に議員としての立場で微力ながら尽力します。



7.24 日

日曜日はこんなことをしています！



ササガパークでのラジオ体操の後には、泉田の八王子神社で毎月行われている『ふれあい泉田朝市』に

出かけました。買い物をする楽しみのほかに、その名前の通り地域の皆様と「ふれあう」ことが楽しみの一つです。



私の事務所では刈谷地域ねこの会の皆様による譲渡会が行われました。「会場がなくて困っている」とのご相談を受けて、「私の事務所で良ければ」ということで2か月前から毎月第2・4日曜日に会場をお貸ししています。これまでは午後からの開催でしたが、夏場は暑くなる前の午前中開催に変更しています。最近テレビでACジャパンによる地域猫のCMを見るようになりました。地域ねこ活動に対する理解が進み、一匹でも多くの猫が救われることを願っています。



ところで・・・地域猫活動をご存じですか？

「地域猫活動」は猫による環境被害と猫の殺処分を減らす有効な解決策として全国的に実施されています。

地域にいる飼い主のいない猫(野良猫)を排除するのではなく、人間と同じ命あるものとしてとらえ、自分たちの地域の問題として、迷惑やトラブルを解決するための環境改善活動です。



具体的には、飼い主のいない猫に不妊去勢手術を施し、元の場所に戻して、適切な管理(ルール・マナーに基づくエサやり、排せつ物の管理、周辺清掃等)を地域住民が主体となって行う活動です。また、どうしても保護が必要な遺棄された子猫などは新しい飼い主を探すなど、将来的に殺処分される飼い主のいない猫を地域からなくしていくことを目指します。

刈谷市では「地域猫活動補助制度」があり、市の承認を受けた団体に対して、不妊手術は1匹上限10,000円、去勢手術は1匹上限5,000円を補助しており、現在31の団体が登録しています。

南部商業発展会主催による『なんぶーちゃんフェスタ2022』に伺いました。

このイベントも3年ぶりの開催。刈谷青果市場を貸し切ったイベントですから、屋根があり雨でもカンカン照りでも大丈夫です。大勢の家族連れで賑わっていました。



コロナの影響で様々な催し物が中止を余儀なくされる中、子どもたちも夏休みに入り、こうしたイベントを待ち望んでいたのだと思います。

「この発展会には57軒のお店が加入しています。お店は地域に支えられ、地域はお店があることで活気生まれます。地域と店舗が互いに支えあって、共に発展して行かれることをお祈りしています。」このような内容で挨拶をさせていただきました。

7.26

県下唯一の天然湖沼である「油ヶ淵」の整備

『油』

ヶ淵水辺公園整備促進協議会』の愛知県に対する要望会に出席しました。

「油ヶ淵水辺公園」は、愛知県内に11か所ある県営都市公園のうち、西三河地域で初めての県営都市公園として、県下唯一の天然湖沼である「油ヶ淵」の貴重な水辺の環境資源を生かして、自然とふれあえる憩いの場及び県民の協働の場となるよう、事業が進められています。

平成30年4月に第1期の整備区域の一部として、安城市側の「自然ふれあい生態園」と碧南市側の「水辺花園」が開園し、昨年度は7月に碧南市側で初めての周回園路の一部約350mを供用開始し、12月には安城市側で、ユニバーサルデザイン遊具のある「ぶらリン広場」の一部約0.5haを供用しました。また、本年の4月には、ぶらリン広場に隣接する約0.3haを供用したことで、公園全体の供用面積は合計9.5haとなりました。

今年度の整備について安城市側では、土の広場やトンボ池の整備に着手し、碧南市側では長田川に架ける橋梁の整備に着手し、順次周回園路をつなげていく予定です。

また、この9月には碧南市側で駐車場と周回園路をつなぐ園路約70mを供用する予定であり、安城市側のぶらリン広場では、昨年度、大型の児童用複合遊具の整備に着手しており、令和5年春の供用に向け整備を進めています。



8.7

3年ぶりに開催の盆踊り しっかり踊って、いい汗掻きました

『昨』

日と今日、夕方から一ツ木地区と高津波地区の盆踊りに参加しました。

「盆踊りは地域の交流の場・絆を深める場ですが、それと共にもう一つ大きな目的があります。日本に古くから伝わる伝統や文化・風習といったものを実体験として次の世代に継承して行くことです。」

盆踊りはお盆で帰って来られた祖先の御霊をおもてなしする機会です。先祖に思いを馳せ、今があることに感謝しながら、地域の皆さんがこうして仲良く交流している姿をご先祖様に見て頂くことで、ご先祖様もきっと喜んでおられるのではないかと思います。

そうした盆踊りの持つ意味を子どもたちに伝えながら、今日の盆踊りが素晴らしいものとなりますことをご祈念申し上げます。」・・・このような主旨で挨拶をさせて頂いた後、大村知事と一緒に踊りの輪に加わりました。



8.9 火

「街路樹の管理」について【現状と課題】【取組方針】

私

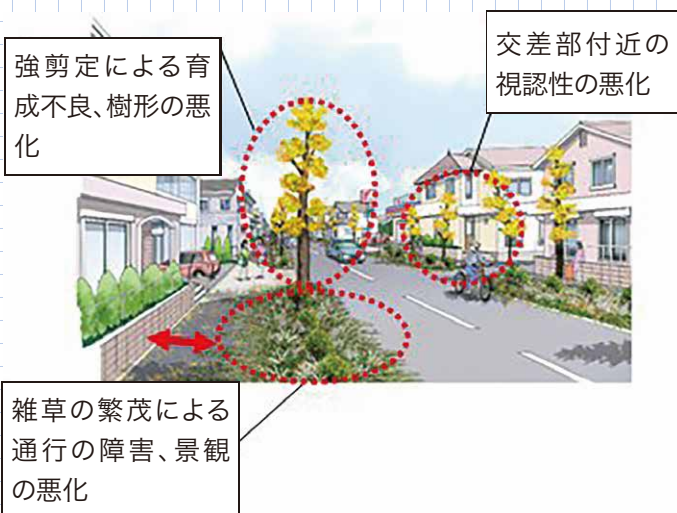
たち無所属議員6名を対象とした「主要事業の進捗状況等」の説明会が開催されました。それぞれの局ごとに分かれた資料に基づいて、財政課の職員さんが説明をして行きます。

その説明の中から、皆様からの声が多く寄せられる「街路樹の管理」について【現状と課題】【取組方針】について紹介します・・・



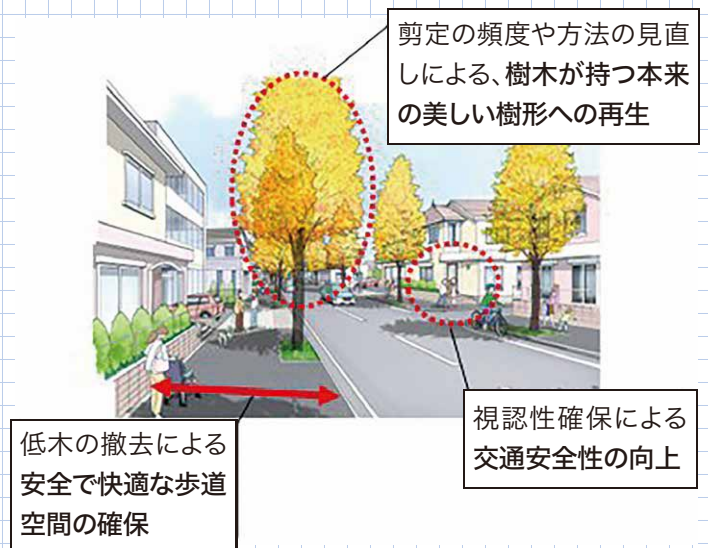
【現状と課題】

- 愛知県では、中高木約8万本、低木約340万本(2021年4月時点)の街路樹を管理しており、中高木は信号や標識などの視認性を確保するため、3年に1回強めの剪定を実施し、低木は安全な通行を確保するため、年1回の剪定にあわせて植樹帯内の除草を行っている。
- 雑草の繁茂による通行障害など交通安全面、樹形の悪化による景観面、老朽化した中高木の倒木といった防災面の課題がある。



【取組方針】

- 2021年度から4年間で歩道幅員が狭く通行の妨げとなっている低木(全体の3割程度)を撤去し、大木化により視認性を悪化させている中高木、老朽化により倒木が懸念される中高木についても、順次撤去を進めていく。
- 撤去により縮減される管理費を有効活用し、植樹帯の除草を夏をみの年一回から、状況に応じて夏と秋の年二回対応できるよう取り組んでいく。
- また、街のシンボルとなる道路を中心に、中高木の剪定を2年に1回に増やすとともに、樹木が持つ本来の美しい樹形に整える剪定方法に見直していく。
- 街路樹の計画的で効率的な維持管理を進め、安全で潤いのある道路環境の創出を図っていく。



8.12 金

2026年にアジア競技大会とアジアパラ競技大会開催

朝

のラジオ体操に始まり、街頭活動、市民相談を受ける、支援者宅へ初盆のお参り、今川地区の盆踊りに参加など今日も充実した1日でした。

今川地区の盆踊りは富士松駅前のロータリーを使って、夏祭りも兼ねて盛大に開催されました。公民館長が開会宣言の際に、感極まって涙ぐんでおられましたが、コロナや台風の影響の中、準備して来られ苦労と開催出来た安堵の気持ちが表れたのだと思います。

そうした皆さんの思いに応える方法は唯一つ、しっかり踊って、しっかり楽しむことだ・・・そのような思いで、盆踊りを満喫しました。スタッフの皆様お疲れ様です。



盆踊りの会場で数人の方から「それは何のポロシャツですか?」と聞かれました。最近私はアジア競技大会のエンブレムやスローガンの書かれたポロシャツを着ることが増え、尋ねられる度にアジア競技大会の話をするのですが、そのような大会がこの愛知県で行われることをほとんどの人が知りません。



オリンピックが全世界を対象とした最大のスポーツの祭典であるとするれば、アジア競技大会はアジア地域最大のスポーツの祭典です。そして、オリンピックにパラリンピックがあるのと同じように、アジアパラ競技大会も開催されるのです。概要を紹介しますと・・・

第20回アジア競技大会

- 主催 アジア・オリンピック評議会(OCA)
- 大会期間 2026年9月19日(土)～10月4日(日)16日間
- 実施競技 パリオリンピック(2024年)で実施される32競技に加えて、アジア特有の競技等40競技程度
- 参加国・地域 OCA加盟の45の国と地域
- 選手団 最大15000人
- 選手村 名古屋競馬場跡地
- 観戦者 未定(参考:仁川大会約152万人、ジャカルタ大会約210万人)

第5回アジアパラ競技大会

- 主催 アジアパラリンピック委員会(APC)
- 大会期間 2026年10月の7日間(想定)
- 実施競技 18競技(想定)
- 参加国・地域 APC加盟の45の国と地域
- 選手団 4000人程度(想定)
- 選手村 アジア競技大会のメイン選手村(名古屋競馬場跡地)を活用

刈谷市の関連

- バスケットボール(ウィングアリーナ刈谷)とサッカー(ウェーブスタジアム刈谷)の競技会場として仮決定
- 市町村が所有する施設でアジア競技大会開催に必要な照明のLED化、バリアフリー化等の改修をする場合に補助金を交付。2022年度はウェーブスタジアム刈谷の実施設計に対して交付決定。

